

環境

【特に関連するゴール】



【関連するゴール】



Contents

- エコロジー推進活動の基本的な考え方 … 94
- 環境マネジメント …… 95
- 地球温暖化防止への取組み …… 100
- 資源循環の取組み …… 109
- 化学物質管理 …… 112
- 環境保全の取組み …… 113

【トピックス】

- 水素の活用によるサステナブルな低炭素社会の実現 …… 105
- ホテルでの食品ロス削減の取組み …… 111

エコロジー推進活動の基本的な考え方

■エコロジー推進活動の基本理念・基本方針 (1992年5月制定、2012年9月一部改訂)

JR東日本グループは1992年に基本理念と基本方針を制定し、1996年には行動指針を定めて具体的な環境保護活動に取り組んでいます。

基本理念

JR東日本グループは社会の一員として事業活動と地球環境保護の両立に真摯な姿勢で取り組みます

基本方針

私たちは、お客さまや地域社会への事業活動を通じて、未来へと続く地球環境の創造に貢献します

私たちは、地球環境保護のための技術の開発と提供に努めます

私たちは、常に地球環境に関心をもち一人ひとりの地球環境保護意識の向上を図ります

■エコロジー推進活動の行動指針 (1996年3月制定、1998年2月、2012年9月一部改訂)

- 1 私たちは、エネルギー使用の一層の効率化や、よりクリーンなエネルギーの導入により、エネルギー総使用量の低減に取り組むとともに地球温暖化の原因となるCO₂の排出量の削減に努めます。
- 2 私たちは、環境汚染物質やオゾン層を破壊する物質等について法令等に基づいて適正に管理、処理するとともに、可能な限りその削減や代替物質への転換を進めます。
- 3 私たちは、地球の浄化能力の負担を軽くするため、オフィスや事業所、駅、列車等からのさまざまな廃棄物を適正に処理するとともに、リサイクルとその削減に努め、また再生品の使用拡大や、省資源に努めます。
- 4 私たちは、多様な生命をはぐくむ自然環境を大切にするとともに、列車走行による騒音や振動などの低減に努め、沿線の環境との調和をめざします。
- 5 私たちは、鉄道の環境に対する影響を一から見直し、鉄道の環境優位性をより高め、世界に向けて発信します。

■エコロジー推進委員会

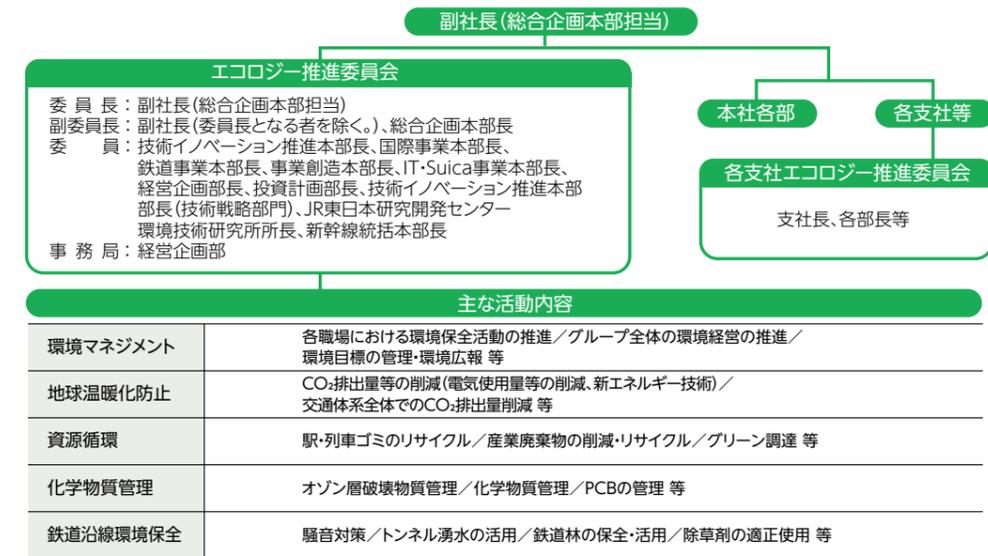
当社では、エコロジー推進活動を推進するマネジメント体制として、代表取締役副社長を委員長とする「エコロジー推進委員会」を設置し、環境目標の設定、環境保全活動の実施、事業活動に伴う環境負荷調査、目標達成度の確認等を行っているほか、経営

企画部が事務局となって、JR東日本グループ一体となった環境経営を推進しています。

■環境に関する規制の遵守状況

2018年度において刑罰等を受けた重要な環境に関する法規制違反、重大な漏出はありませんでした。

[JR東日本の環境マネジメント推進体制(2019年7月現在)]



環境マネジメント

環境目標の管理

■2030年度目標

当社では、2015年12月の「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)」において、2020年以降の地球温暖化対策の新たな国際的枠組みとなるパリ協定が採択されたことを踏まえ、2030年度を達成年度とする環境目標を掲げています。

環境保全活動の分類	項目	2030年度目標
地球温暖化防止への取組み	鉄道事業のエネルギー使用量	25%削減(2013年度比)
	鉄道事業のCO ₂ 排出量	40%削減(2013年度比)

鉄道事業のエネルギー使用量及びCO₂排出量の削減

2030年度に向けては、電力貯蔵装置の設置や

再生可能エネルギーの自家消費、E235系車両の導入等を拡大するとともに、自動省エネ列車制御の実現等のさらなるシステム革新等により、2020年度までの削減ペースを加速し、鉄道事業のエネルギー使用量25%削減及びCO₂排出量40%削減(2013年度比)の実現をめざします。

なお、CO₂排出量削減については、2030年度に電力会社のCO₂排出係数が0.37kg-CO₂/kWhとなることを前提に、エネルギー使用量25%削減をCO₂排出量に換算した目標としています。

